



不揃いの木を組む ～技を伝え 人を育てる～



飛騨高山ブランドフォーラム

<飛騨高山ブランドコンセプト>

～飛騨高山の風土と飛騨人の暮らしが生み出す本物
それが「飛騨高山ブランド」～

法隆寺、薬師寺金堂、西塔、法輪寺三重塔などは何百年後も永く
建ち続けることを見据え、木のクセを読み、活かす宮大工の技によ
り建てられています。このたび、1,000年以上も受け継がれた日本
の木造建築技能を現在に伝える小川三夫棟梁の講演会を開催いたし
ます。120人以上の弟子を送り出した小川棟梁はいかに技術を身
に付け、多くの弟子を育成し、送り出していったのか。多くの企業
を悩ませる「人材育成」と「技術力向上」への取り組みとは？この
機会にぜひご参加ください。

講師 宮大工 鳩工舎 小川三夫氏
いかるが

日時：2021年 6月15日（火）10:30～12:00

場所：久々野公民館

高山市久々野町久々野1505番地4
0577-52-3112

参加費：無 料

主催：株式会社 長瀬土建

後援：高山市・高山市教育委員会

一般財団法人 飛騨高山大学連携センター

岐阜県立森林文化アカデミー

高山南商工会

久々野まちづくり協議会

申し込み 株式会社 長瀬土建 担当 見座垣内（みざがいと）

m.naoko@nagase-const.com 申し込み期限 5月31日

tel 0577-52-2233 Fax 0577-52-2153



寺社建築専門の建設会社「鶺工舎」の創設者。 宮大工・西岡常一のただ一人の内弟子



講師プロフィール

小川三夫氏斑鳩（いかるが）の宮大工・西岡常一（文化財保存技術保持者）のただ一人の内弟子。奈良県の法輪寺三重塔再建工事、薬師寺復興工事に携わる。1977年、宮大工になりたいという若者たちをじっくり育てる場所として「鶺工舎」を設立。現在後進の育成に力を注いでいる。

■職歴・経歴

1947年栃木県矢板市生まれ。1966年栃木県立氏家高校卒業。高校の修学旅行で奈良へ行き、法隆寺の塔に魅せられ宮大工になる決意をし、1966年西岡棟梁の門を叩くが、「弟子を養う余裕がない、弟子にするには歳をとりすぎている」と言われ、弟子入りを断られる。その後、修行を重ね、1969年に弟子入りを許され、法輪寺三重塔再建工事、薬師寺復興工事に携わる。

1973年法輪寺三重塔建設が再開されると、棟梁代理として活躍。1977年宮大工になりたいという若者をじっくり育てる場所として「鶺工舎（いかるがこうしゃ）」を奈良県生駒郡斑鳩町に設立。

1996年株式会社鶺工舎を栃木県塩谷郡塩谷町に設立。

1998年建設省河川審議会専門委員（1年間）を務める。

同年第26回下野県民賞受賞

2003年卓越技能者「現代の名工」に選ばれる

2008年黄綬褒章受章

著書

『木のいのち木のころ』(共著・西岡常一、塩野米松)(草思社)

『不揃いの木を組む』(草思社)

『棟梁～枝を伝え、人を育てる～』(文藝春秋)

『宮大工と歩く奈良の古寺』